

アンコール

映画

ポスター

の革命

The Revolutionary Film Posters of the Art Theatre Guild (ATG)

ATG [アート・シアター・ギルド] の挑戦

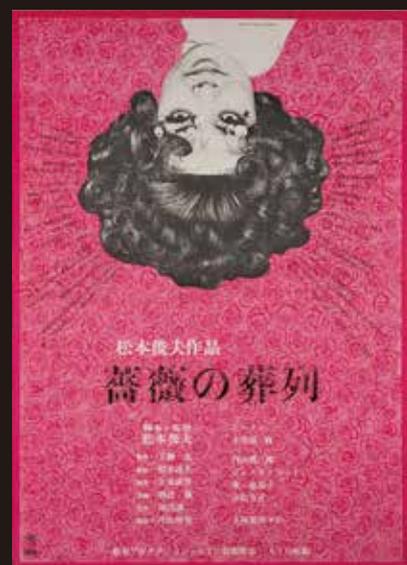
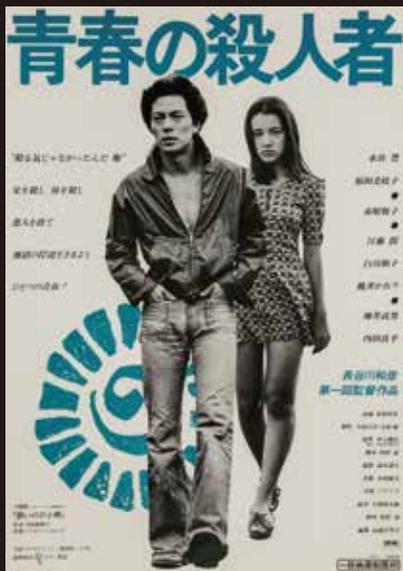
ポスター人気投票企画
結果発表
&
特設コーナー展示

観覧料

（企画展「日本映画 名優 列伝」もご覧いただけます）
 一般：200円（140円） 小・中学生：100円（70円）
 ＊（ ）内は20名以上の団体料金

2021.3.19(金) ▶ 6.20(日)

鎌倉市川喜多映画記念館



2020年6月2日～9月6日に開催した企画展「映画ポスターの革命～ATG(アート・シアター・ギルド)の挑戦」。会期中には、全90枚のポスターの中からお気に入りの1枚を選んでいただく、ポスターの人気投票を実施しました。このたび、会期中に実現できなかった2つのトークイベントの振替開催とともに、人気投票で上位に選ばれたポスターのアンコール展示を行います。1960～70年代にかけて、日本映画が最も野心的だった時代の熱量を、ポスターアートの視点からお楽しみください。

《お気に入りの映画ポスターを見つけてみよう!》投票結果発表 ()内はポスターデザイナー名

- 1位:『曼陀羅』(林静一)
- 2位:『変奏曲』(細谷巖)
- 3位:『新網走番外地 さいはての流れ者』(横尾忠則)
- 4位:『薔薇の葬列』(朝倉摂)
- 5位:『津軽じゃんがら節』(檜垣紀六)
- 6位:『絞死刑』(檜垣紀六)
- 7位:『青春の殺人者』(小笠原正勝)
- 8位:『卑弥呼(スチル版)』(粟津潔)
- 8位:『転校生』(小笠原正勝/イラスト:長谷川集平)
- 8位:『尼僧ヨアンナ(オリジナル版)』



関連トークイベント *2020年春に中止したイベントの振替です。

① 5月5日(水・祝) 14時～ 体験的ATGポスターデザイン論

映画ポスターの熱い時代を生きた男

ゲスト: 檜垣紀六さん(映画広告図案士)

東宝アート・ビューロー(株)/現・TOHO マーケティング(株)所属のデザイナーとして、ATG公開全作品の約3分の1ものポスターデザインを手掛けた檜垣紀六さん。檜垣さんにとってATGの仕事とはどんなものだったのでしょうか。1960～70年代の映画ポスター界を知り尽くしている檜垣さんに、ATGのポスター創りのコンセプトから、デザインワークの具体的なプロセス、業界の厳しい制約を乗り越えて生み出された工夫など、ご自身の長年の経験をあますところなく語っていただきます。

※2021年1月に完成・出版された檜垣さんのキャリアの集大成「映画広告図案士/檜垣紀六 洋画デザインの軌跡・題字・ポスター・チラシ・新聞広告 集成」(9900円)の販売も行います。

※会期中、檜垣紀六さんがデザインを手掛けたATGポスターもアンコール展示いたします。

② 5月15日(土) 14時～ 1968文化論

50年前の我々はこんなスゴイ映画を見ていた!

ゲスト: 四方田犬彦さん

(映画史・比較文学研究)

1960年代は映画のみならず、デザイン/演劇/美術/音楽/漫画など様々な領域で革新的な試みが生まれた時代でした。ベトナム反戦運動や学生運動といった、社会の大きな転換点という意味でも「1968年」は象徴的なキーワードになっています。トークイベントでは、当時リアルタイムで時代の熱気を享受していた四方田犬彦さんに、同時多発的に起こった文化の諸相と、その中に位置づけられるATG映画についてお話しいたします。

トークイベント料金(展示観覧料含む):

一般 1000円 小・中学生 500円

チケット発売開始日:

① 3月20日(土・祝)

② 4月17日(土)

※席数、入館時間等は状況により変更する場合がございます。

詳しくはお問合わせください。

※入館時、館内での感染予防対策にご協力ください。

Kamakura City Kawakita Film Museum
鎌倉市川喜多映画記念館

〒248-0005 神奈川県鎌倉市雪ノ下2-2-12

TEL:0467-23-2500

HP: <https://kamakura-kawakita.org>

開館時間 9:00～17:00(入館は16:00まで)

休館日 毎週月曜日(5月3日は開館)

主催:川喜多・KBSグループ【鎌倉市川喜多映画記念館指定管理者】

